

# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

August 2018 vol.52



## ◆ 興禅寺

所在地：犬山市羽黒城屋敷

交通：名鉄小牧線「羽黒」駅 西約300m

入鹿池は寛永10(1633)年に完成した農業用のため池で、満水面積は152ha、灌漑面積は1,369町(1町は約1ha)に及び、日本では香川県の満濃池と1、2を争う規模です。平成22年には農林水産省のため池百選に、平成27年には国際かんがい排水委員会による世界かんがい施設遺産にも登録されています。

入鹿池の開発は、楽田原、小牧台地などでの新田開発のため、のちに入鹿六人衆と呼ばれる小牧・春日井・大口の庄屋が、尾張藩主へ入鹿池築造計画を願い出たところから始まります。ため池の工事には特殊な技術が求められ、杵(ため池から水を流す水門の取り入れ口)の工事には真清田神社のご修理大工、原田与左衛門・平四郎を、築堤工事には河内から甚九郎を招き、約1年の歳月をかけて完成します。築造後は、周辺地で水田の開発が進み、尾張藩は6,883石(約103トン)もの増収になりました。

入鹿池は、築造から230年余り大きな災害に見舞われませんでしたでしたが、慶応4(1868)年、4月から降り続いた雨は、5月になっても降り止まず、ついに5月14日の寅の刻(午前3時~4時頃)、堤が決壊します。洪水は周辺の低地へ勢いよく広がり、発生が早朝だったこともあって、多くの人々が就寝中を襲われ犠牲になったと言われています。

『羽黒水災記』には、入鹿切れの際の様子について、次のような記録が残されています。「終二五月十四日、暁天寅ノ刻六丈余ノ高堤一時二崩壊シ湖底ヲ尽シテ迸(ほとばしり)出ス、夫(それ)コヘ堂社民屋(神社や民家)流損

二千余二及フ、牛馬ノ死傷モ又数知レス、溺死輩凡(およそ)一千余人、其外下男下女客人タルモノ又尋ヌルニ違(いとま)アラス、実前代未聞ノ大変ナリ」

尾張藩のまとめによると、被害は丹羽郡、春日井郡、中島郡、海東郡の120か村に及び、900人余りの方が亡くなり、家屋の流失は800戸余り、浸水は1万2千戸近くを数え、流没した耕地は約84km<sup>2</sup>となりました。洪水による浸水範囲は、北は五郎丸から南は羽黒新田、西は小口にまで及んだと言われ、この浸水範囲を示すように、各地に慰霊碑が残されています。慶応戊辰入鹿池決壊図(名古屋市鶴舞中央図書館所蔵)には、当時の浸水範囲の図が残されています。(電子版は名古屋市図書館デジタルアーカイブ「なごやコレクション([http://e-library2.gprime.jp/lib\\_city\\_nagoya/da](http://e-library2.gprime.jp/lib_city_nagoya/da))」で見ることができます。)

犬山市の興禅寺には、「入鹿切れ流石」が残されています。この石は入鹿切れの際にこの地まで流されてきたと伝えられる石で、当時の流水の勢いを物語る遺構として安置され、慰霊の碑になっています。境内にはその他、入鹿切れの犠牲者を供養する「北向き地蔵」も安置されています。今年に入鹿切れから150年の節目の年にあたり、興禅寺では犠牲者の慰霊と被害を後世に伝えるため、4月に入鹿切れ150年忌慰霊祭が行われています。なお入鹿池は、明治24(1891)年の濃尾地震の際には、堤防に幅6~9cm程度、深さ5.5m程度の地割れができましたが、幸いにも水位が低く、破堤には至らなかったとされています。



入鹿切れ流石  
中部「歴史地震」研究年報  
第4号より



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたとくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



## ◆ 興禅寺の周辺には…

### ● 立円寺

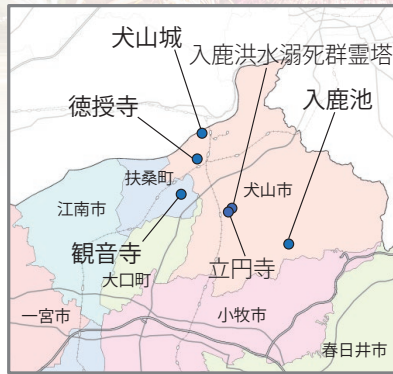
所在地：犬山市羽黒小安

交通：名鉄小牧線「羽黒」駅 東 約 300m

立円寺には、入鹿切れの際、河内屋堤防の決壊によって溺死した人々の記録が残されています。境内の慰霊碑には、溺死者が男性 44 名、女性 74 名、性別不明者が 31 名で、合計で 149 名であったことが記されています。



は、溺死者が男性 44 名、女性 74 名、性別不明者が 31 名で、合計で 149 名であったことが記されています。



### ● 入鹿洪水溺死群霊塔

所在地：犬山市羽黒字神ノ木

交通：名鉄小牧線「羽黒」駅 東 約 800m

犬山市の朝日地区に、入鹿切れの洪水後に溺死者の亡骸が集められ埋葬されていた場所がありました。

明治 33 年 5 月に建立された入鹿洪水溺死群霊塔は、埋葬後、この地を訪れた通称・梅干和尚が、散在していた人骨を集め、供養塔として建立したものです。



中部「歴史地震」研究年報 第4号より (左写真共)

◆ 詳細な地図は表面及び『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をご覧ください。

## ★ 石上げ祭

石上げ祭は、入鹿池のすぐ西にそびえる尾張富士の山頂に、大小さまざまな石を担ぎ上げる天下の奇祭で、毎年 8 月の第 1 日曜日に行われます (平成 30 年は 8 月 5 日)。

祭りの由来はその昔、尾張富士がすぐ南にある本宮山との高さ比べに負けたので、尾張富士のご祭神が村人たちに石を山頂まで運んで山を高くすることを命じ、石を担ぎ上げた村人には願いを叶え神徳を与えた、という言い伝えによります。

今日では、個人から家族連れ、職場のグループなどの参加者が、石をくりつけた担ぎ棒に笹竹を立て、願い事を書いた 5 色の手拭いで飾り、かついだ石を山頂に奉納します。夜 8 時になると、尾張富士山頂に向けて花火が打ち上げられ、提灯がゆらめく参道を、子供から大人まで約 80 名が火をつけた松明を振り回しながら一気に駆け下りる、火振り神事が行われます。



犬山市観光協会 HP より

## 8月のあいちの花

平成 30 年 8 月のあいちの花はアナナス類です。アナナス類はパイナップル科植物の総称で、樹木に固着して生活する着生植物です。葉は細長くて表面に光沢があるものが多く、葉の付け根が重なり水が溜まる構造になっており、葉から水や栄養を吸収することができます。



みんなの園芸 HP より

代表的な園芸品種のグズマニアは、穂状に咲いた花を取り囲む苞状の葉が鮮やかな赤や黄色に色づき、トロピカルな雰囲気醸し出します。他にも、桃色の苞が鮮やかなシマサンゴアナナス、赤桃色の苞と虎斑模様の葉が美しいトラフアナナスなど、多くの品種があります。

## ● ブレイクタイム ●

### ♪ 入鹿池ダムカード

ダムカードはダムを PR するために、全国のダムを訪れた人に無料で配布されるカードです。

入鹿池は農業用ため池ですが、堤の高さが 15m 以上 (25.7m) というカード制作の基準に適合するため、「入鹿池ダムカード」が作られ、平成 30 年 2 月から配布されています。

カードは名刺大で、航空写真や国内 2 位の総貯水量などのデータが盛り込まれており、5,000 枚が制作され、池を管理する入鹿池用土地改良区事務所で無料配布されています (平日のみ)。



犬山市 HP より

◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をぜひご覧ください。

(発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成 30 年 8 月)